

燃料の種類

主燃料	一種類の炭を使用する場合
副燃料	主燃料の火力を更に助ける燃料

炭の使用方法（二種類）



燃料コストを抑えたい場合
お客の回転が悪い場合
季節 時間帯

①
主燃料のみ利用
(主燃料に火を付けます)

②
主燃料と副燃料の利用 (副燃料のみに火を付けます)

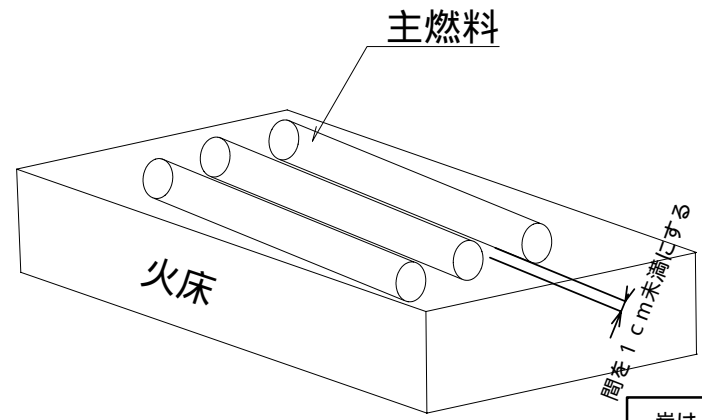
お客の回転が良い場合



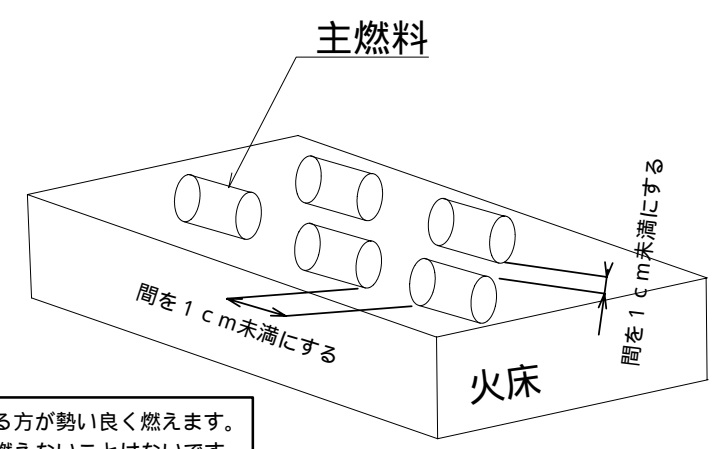
火の付け方はどちらも同じです
写真のように全体に火を付けなくても大丈夫ですが、全体の50%には付ける方が良いでしょう。
その場合は、右、断面図の方法で火付けを行って下さい。

少なめに入れます
3cm程度

例、1（半丸以上の長い炭）

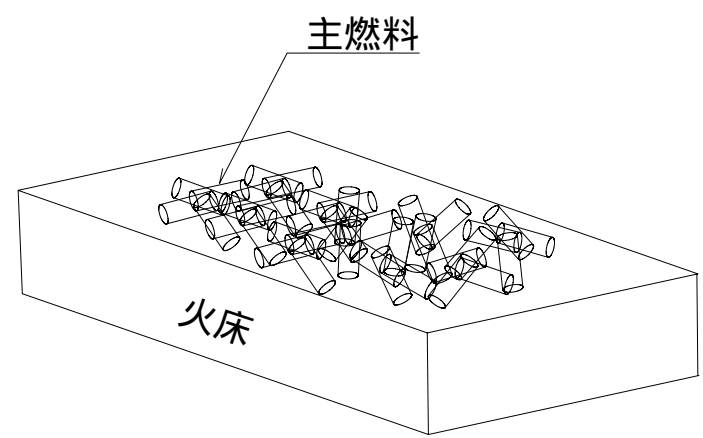


例、2（大き目の馬目上や、切丸の短い炭）



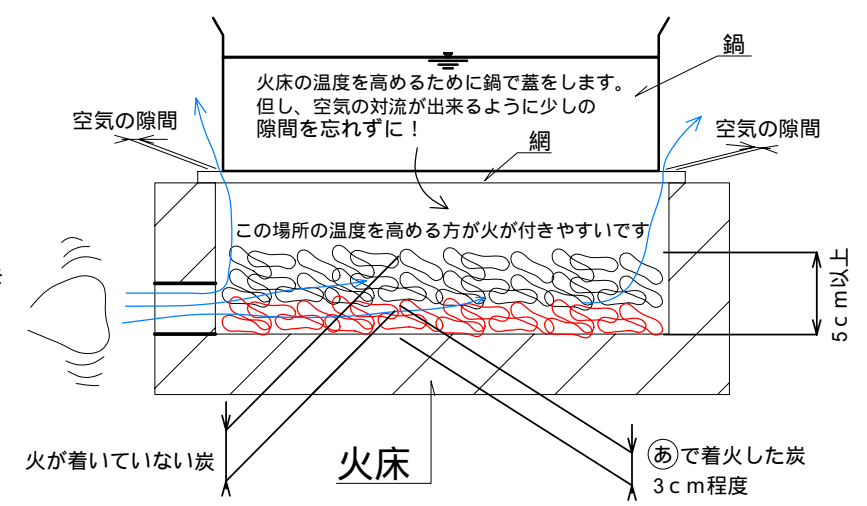
炭は、固めてやる方が勢良く燃えます。
但し、単体でも燃えないことはないですが、炭が小さくなると途中で消えることが多いです。

例、3（馬目小や馬目並の細かい炭）



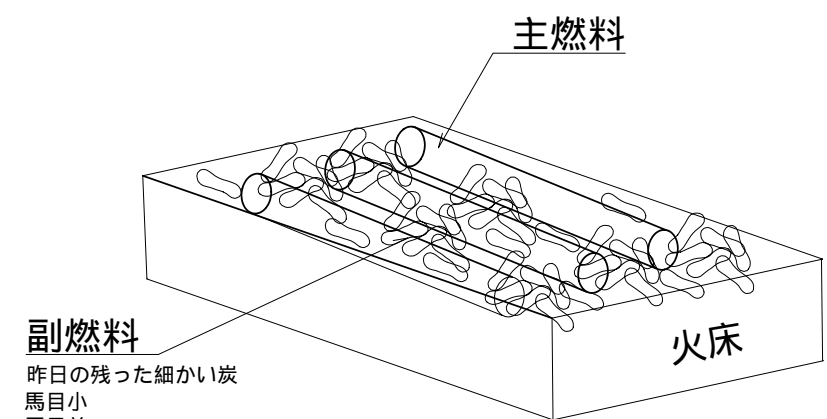
細かい炭は、寄せ集めて焚くことをお勧めします

断面図



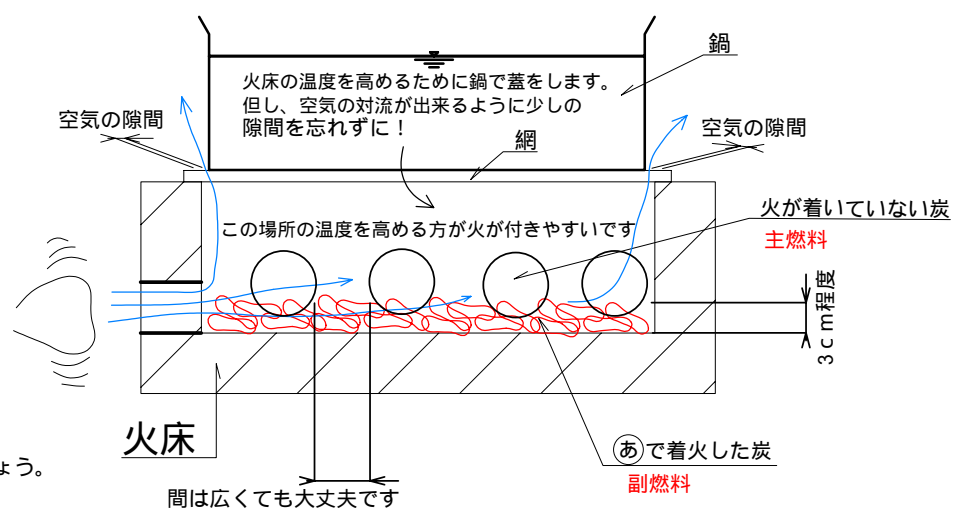
内輪で往復10回程度を強くあおちます
その後20~30分で火が付くでしょう。

例、1（半丸以上の長い炭）



昨日の残った細かい炭
馬目小
馬目並
小さい馬目上 等です。

断面図



内輪で往復10回程度を強くあおちます
そのまま、
小丸で約20~30分
半丸で約20~40分
中丸で約30~50分
で主燃料に火が付くでしょう。